

公演事業

「魅せる」鑑賞事業として、国内外で活躍中のカンパニーによる公演や、劇場開館に向けて岡山で鑑賞機会の少なかった幅広い分野の公演を実施します。

B-1 Baobab Re:born project vol.2 「アンバランス」

AI×ダンス Baobabが新時代を切り拓くSF異色作、誕生。2010年に発表した『アンバランス』は、Baobab始動の“礎”となった異色作。トヨタコレオグラフィアワード2012で発表した『vacuum』という新作に生まれ変わり、オーディエンス賞を受賞。10年以上を経た今、『アンバランス』に立ち返り“生みなおす”。昨年のハレルワークショップで定員以上の応募があった北尾亘氏主宰のダンスカンパニーBaobabが岡山初上陸。

日時:9月26日(日) 開場12:30 開演13:00
会場:西川アイプラザ5F 多目的ホール
料金:前売 2,000円 当日 2,500円
振付・構成・演出:北尾亘(Baobab)
出演:河内優太郎、シュミツ茂仁香(Baobab)、伊藤まこと(Baobab)、福島玖宇也、北尾亘



写真:廣橋伸一郎 2枚とも

B-2 MONO 第49回公演 「新作:タイトル未定」

日程:2022年3月5日(土)・6日(日)
会場:岡山県天神山文化プラザ ホール
料金:前売 3,000円 当日 3,500円
作・演出:土田英生
出演:水沼健、奥村泰彦、尾方宣久、金替康博、土田英生、石丸奈菜美、高橋明日香、立川茜、渡辺啓太

チケット発売:2022年1月頃予定
詳しいチケット取扱や公演詳細は統報をお待ちください!



MONO47 『その鉄塔に男たちはいるというナ』(撮影:谷古宇正彦)

市民公募プログラム

岡山芸術創造劇場開館後を見据え、市民の皆さんが主体となって取り組む文化芸術活動を支援するプログラム。文化事業の企画・実施能力を高めていただくと共に、多世代の文化的成長を促し、多様で特色のある文化芸術の振興を図り、まちに賑わいをもたらすことを目的としています。

C-1 Twilight Jazz Club at Omotecho



岡山芸術創造劇場周辺には楽器店やライブハウスなど多く、音楽との親和性が高いエリアといえます。さらに近年この地域の居住者も増加しており、これもまた表町の特徴となっています。「地域の日常に音楽を楽しんでもらう場を作る」をコンセプトに、夕暮れを迎えた商店街に響く心地よいジャズの音色とその場を楽しむ地域住民や通行人。そんな風景を表町で作り、岡山芸術創造劇場が誕生したのちの「街の姿」を表現します。

日時:11月6日(土) 17:00~20:00
会場:表町商店街・南時計台周辺
料金:無料
出演:大林武司、樋口利歌トリオ、Saxophone Cross+Piano



問合せ RSK 山陽放送 企画事業部 TEL:086-225-7300

C-3 おかやまフード&アートカーニバル エカローガ

表町商店街を芸術と食の力で盛り上げよう!おいしい食べ物と楽しい音楽・アートで表町商店街がお祭り会場になります!木下大サカスのパフォーマンスも楽しめる!ほかにも子供やファミリーで楽しめるイベントをたくさん用意しています!

日時:12月12日(日) 10:00~16:00
会場:表町商店街南部地域
料金:無料
出演:木下大サカスよりパフォーマー
岡山市内外の音楽団体や芸術団体

問合せ おかやまフード&アートカーニバル エカローガ実行委員会 TEL:086-238-8911

C-5 創作戯曲 『-ODORE- Re:new Scoop!!』

問合せ・申込み先 天神幕劇・大森 TEL:080-6265-0732 E-mail:contact@tenjinonstage.info

C-2 ひと・まち・つくるプロジェクト 「わが町」アクセス 徘徊演劇『よみちにひはくれない』



©和気町初演 「よみちにひはくれない」(2015年)

『よみちにひはくれない』は、痴呆症で方向知れずの病妻を夫が探し歩くという物語です。その道中で様々な人々やいろいろな場所に遭遇していく様子をご覧ください。実演には高齢者が出演し、鑑賞には障害ある方の参加も促し、多様な価値と可能性を受容できる作品です。

日時:11月27日(土)・28日(日)
14:00~15:30(両日共)
受付会場:さんかく岡山前・公開空地
受付開始:13:00
上演会場:新西大寺町→千日前時計台→西大寺町→京橋→旭川河畔→オランダ通り→紙屋町(移動上演形式、少雨決行)
料金:一般2,500円 高校生以下1,000円(障害者手帳のある方は無料、前売・当日共通)
作・演出:菅原直樹(OiBokkeShi、奈義町)
出演:岡田忠雄(OiBokkeShi、岡山市)、藤城孝輔(フリー、岡山市)、金定和沙(青年団、岡山市)

問合せ・申込み先 特定非営利活動法人アートファーム TEL:086-233-5175

C-4 囃子桜友会「冬の会」

日本舞踊清元「傀儡師」、争曲「天の彩」、新邦楽「桜人」の古典から創作作品まで文化創造をテーマに選んだ3番組の公演。「桜人」は岡山を代表する名木・醍醐桜をテーマに四季の情景を描いた囃子のためのオリジナル曲。この度はこれに新しく日本舞踊を組み込み再演。

日程:12月18日(土)
会場:岡山県立美術館 ホール
料金:前売4,500円 当日5,000円
出演:望月太津友(邦楽囃子)、花柳大日翠(日本舞踊家)他



望月太津友

問合せ・申込み先 囃子桜友会 TEL:086-241-3610

岡山大学出身のアマチュア劇作家・演出家伊藤圭祐が書き下ろした戯曲『-ODORE- Re:new Scoop!!』を上演します。出演者は公募によって舞台、ワークショップ兼オーディションを経て決定。学校の体育館という場を効果的に活用した舞台演出を試みます。

日時:12月25日(土) 13:00~17:30~
12月26日(日) 11:00~15:00~ ※仮日程
会場:旧山下小学校
料金:前売 一般1,500円/学生500円 当日 一般2,000円/学生1,000円
出演:20~24名 ※公募により決定



ハレルワークショップ

岡山市民の皆さんに“舞台芸術”を知っていただく為に行う、ダンス・戯曲・演劇を体験する初心者向けのワークショップを実施。舞台芸術を知らない方・興味ある方を幅広く募集します。(「はじめてのダンスワークショップ」、「はじめての戯曲講座」と「戯曲のひろば」、「はじめての演劇ワークショップ」四つのプログラムから舞台芸術の魅力を感じていただきます。)全国で活躍するアーティストの演劇観やダンス観に岡山で出会えます。

D-1 はじめてのダンスワークショップ

日時:7月10日(土)・11日(日)
13:00~17:00(両日共)
会場:出石コミュニティハウス2F
料金:500円 高校生以上
講師:セレノグラフィカ(隅地葉歩・阿比留修一)



写真: Ai Hirano

プロフィール
関西を拠点に国内外、屋内外を問わず幅広く活動を展開する結成24年のダンスカンパニー。多様な解釈を誘発する不思議で愉快な作風と、緻密な身体操作が持ち味。(一財)地域創造「公共ホール現代ダンス活性化支援事業」登録アーティスト。

D-3 戯曲のひろば

日時:11月21日(日) 13:00~16:00
会場:薩涼寺
料金:500円 高校生以上
申込締切:11月5日
講師:坂手洋二(燐光群)



プロフィール
劇作家・演出家。1983年〈燐光群〉旗揚げ。国内外で公演を重ねる。1993年劇作家協会創設に参加。2006~2016年同会長。岸田國士戯曲賞、鶴屋南北戯曲賞、読売文学賞、紀伊國屋演劇賞、朝日舞台芸術賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞。オペラ、翻訳戯曲等、演出のみの仕事も手がける。

D-2 はじめての戯曲講座

日時:10月23日(土) 14:00~17:00
会場:岡山市民会館102会議室
料金:500円 高校生以上
申込締切:10月8日
講師:土田英生(劇作家・演出家・俳優/MONO代表)プロフィール



1999年『その鉄塔に男たちはいるという』で第6回OMS戯曲賞大賞を受賞。2001年『崩れた石垣、のぼる鯉たち』(文学座)で第56回芸術祭賞優秀賞を受賞。近年は劇作と並行してテレビドラマ・映画脚本の執筆も多数。その代表作に、映画『約三十の嘘』、テレビドラマ『崖っぷちホテル!』『斉藤さん』シリーズなど。2020年にはテレビドラマ『半沢直樹』に出演。

D-4 はじめての演劇ワークショップ

日時:2022年2月26日(土)・27日(日)
13:00~17:00(両日共)
会場:出石コミュニティハウス2F
料金:500円 高校生以上
申込締切:2022年2月11日
講師:多田淳之介(演出家。東京デスロック主宰)プロフィール:



古典から現代戯曲、ダンス、パフォーマンス作品まで現代社会の当事者性をフォーカスし、アクチュアルに作品 撮影:平岩享
を立ち上げる。2010年より富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督に公立劇場演劇部門の芸術監督として国内歴代最年少で就任。2019年3月まで3期9年務める。2014年日韓合作『ガモメ カルメギ』で韓国の第50回東亜演劇賞演出賞を外国人として初受賞。東京芸術祭ファームディレクター。青年団演出部。

A kikkake!

D ハレルワークショップ

B 公演事業

E いどばたプロジェクト

各事業についての問合せ・申込み先
公益財団法人 岡山文化芸術創造
TEL:086-225-0154(平日10:00~17:00) FAX:086-225-0156
E-mail:theaterplanning_info@ocac.jp HP:https://www.ocac.jp/

E いどばたプロジェクト

岡山市内をはじめ県内各地で各地域の方々と劇場職員が直接顔を合わせ、岡山芸術創造劇場の概要や目的、まちの関わり合いについて話し合う機会を設けます。

E-1 いどばた会議

劇場が建つ表町・千日前ってどんな町?劇場とまちはどう連携していく?など様々なテーマで劇場の役割や「まち」のあり方などについて意見・情報交換を行います。



- 「表町と音楽」4月21日(水) 18:30~19:30
 - 「劇場長と語り合う」6月30日(水) 18:30~19:30
 - 「テーマ未定」2022年1月26日(水) 18:30~19:30(予定)
- 会場:さんかく岡山(岡山市男女共同参画社会推進センター)
料金:無料

E-2 いどばたシンポジウム2021

「創造型劇場って何なん?」「創造型劇場」といわれている当劇場。あらためて、「創造型劇場」とはどのようなものなのでしょうか。誰が、何を、どのように、「創造する」のでしょうか。市民はどのように関わることになるのでしょうか。今回は、他都市での創造型劇場の事例を聞き、専門家と共に意見交換いたします。

事例紹介1 SPAC-静岡県舞台芸術センター:芸術総監督 宮城聡
事例紹介2 穂の国とよはし芸術劇場PLAT:芸術文化プロデューサー 矢作勝義
パネルディスカッション 「岡山芸術創造劇場がつくっていくもの」
パネリスト 宮城聡 (SPAC-静岡県舞台芸術センター:芸術総監督)
矢作勝義 (穂の国とよはし芸術劇場PLAT:芸術文化プロデューサー)
花柳大日翠(日本舞踊家)
平井優子(ダンサー、演出振付家)
加賀田浩二(岡山芸術創造劇場 事業グループ)

日時:10月30日(土) 13:30~16:30
会場:ひかりの広場 リットシティビル2F
料金:無料
オンライン同時配信予定
詳細は財団HPにてご確認ください。
定員:60名予定
申込締切:10月20日(水)

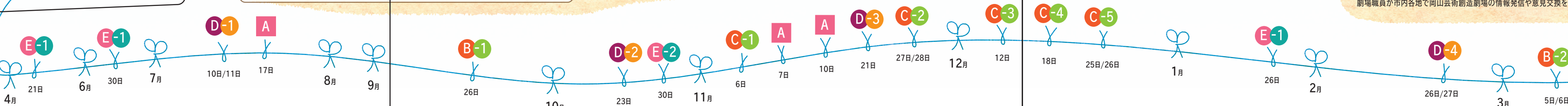


小劇場イメージ

E-3 いどばたキャラバン

劇場職員が市内各地で岡山芸術創造劇場の情報発信や意見交換を行います。

2021年度
プレ事業スケジュール



「集う／A」 まちなか集会所kikkake!

劇場が開館するまでの間、劇場周辺地域である表町商店街の空きテナントを活用して、劇場の情報発信や、様々な方々との交流するために開設された集会所。地域の方々と文化芸術を通してつながる場となり、劇場開館に向けた「わくわく」感の醸成と、まちの賑わい創出につなげていこうとするプロジェクト。

「まちなか集会所 kikkake!」の名称について
「きっかけ」の一般的な意味合い“物事を始める手がかり”と、舞台の進行で曲や照明、セリフの合図になるものを指す舞台用語「きっかけ」にちなんだものであり、まちと劇場、人と劇場が出会う「きっかけ」が生まれる交流スペースです。



劇場・舞台芸術関連の情報コーナー

- ・劇場開館に向けて市民の方が色を塗るカウントダウンカレンダーなどの体験型展示
- ・全国の創造劇場や、地域の芸術文化活動のチラシ・パンフレット・ポスター等の情報展示
- ・ホール断面、劇場外観、劇場内の素材サンプル等の岡山芸術創造劇場モックアップ展示



つどう会

無料で事前申込
地元で活動する文化芸術団体や地域で暮らす方々とちいさな輪になり対話をする会。まちの文化やプレ事業で行われる舞台芸術作品について話し合う1時間。市民公募プログラムの主催者をお招きし、秋冬にかけてトークを予定しています。



ハレノワぬりえ

みんなのおもう「ハレノワ」をすきないろでつくろう!

kikkake! で
カウントダウンカレンダーに
さんかできるよ!



kikkake! の
最新情報は
こちらから →



財団
HP



↓岡山芸術創造劇場 ハレノワ最新情報はこちらから ↓

オープニングイベント

7月17日に表町商店街の一角にて、プラスバンドによる盛大なファンファール、市内の子どもたちと一緒に作ったオリジナル大型チケットを切る「チケットもぎり式」で華やかに開所しました。内覧会や、劇場長と劇場職員のトークセッションなど、盛りだくさんの内容で、多くのお客様をお迎えしました。



劇場長に聞く!岡山芸術創造劇場のあれこれ (表町商店街 まちゼミ連携事業)

草加劇場長が、新しくできる劇場について
わかりやすく解説します。
日時: 11月 7日(日) 14:00~15:30
11月10日(水) 19:00~20:30
会場: まちなか集会所kikkake!
(北区表町3丁目)
定員: 【対面】5名 【オンライン】20名
申込開始: 10月15日(金)より



写真: 草加叔也 劇場長



【岡山芸術創造劇場 ハレノワ】

愛称: ハレノワ

晴れの国岡山で「ハレ」＝「非日常」の舞台空間を日常の中で創っていく劇場であり、そのハレの輪が広がるように、市民に身近な劇場になることをイメージしています。

岡山芸術創造劇場とは

岡山市市民会館と岡山市立市民文化ホールに代わる“新しい文化芸術施設”です。これまで両施設が担ってきた文化芸術分野の活動の場としてだけでなく、子どもからお年寄りまで幅広い世代の方々が気軽に訪れ、交流し、コミュニケーションが図れる場所となり、新たな賑わいを生み出し続ける文化・芸術の発信拠点となる施設です。コンセプト「魅せる」「集う」「つくる」に沿って、演劇・ダンスの公演や作品創り、アーティストと市民が出会う体験型ワークショップなどを実施することによって、岡山市全体の文化芸術の新たな創造活動を促進し、地域の魅力づくりや、未来を支える人材の育成に寄与していきます。

施設機能

- 大劇場(約1750席) ●中劇場(約800席) ●小劇場(約300人程度) — 演劇、ダンス、伝統芸能、オペラ、ミュージカル・音楽劇、バレエなど様々な公演に対応
- 創造支援諸室(大練習場・中小練習室・大道具・小道具・衣装等各種工房) 情報・展示ギャラリー等 — 小規模な発表や舞台芸術の創造に必要な活動などに利用可能

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては事業の中止、または内容を一部変更する場合があります。

問合せ先

公益財団法人岡山文化芸術創造 岡山芸術創造劇場
〒700-0823 岡山市北区丸の内二丁目1-1 岡山市市民会館 4 階
TEL: 086-225-0154 (平日 10:00 ~ 17:00) FAX: 086-225-0156
E-mail: theaterplanning_info@ocac.jp HP: https://www.ocac.jp/

主催: 公益財団法人 岡山文化芸術創造 共催: 岡山市
デザイン: アップライム株式会社

新型コロナウイルス感染予防策を徹底しています。



発行日 令和 3 年 9 月 10 日

岡山芸術創造劇場

「わくわく」な未来
ハレノワの
まあるくつなげよう

2021 年度プレ事業

